

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

■ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



電源プラグを
コンセントから抜け

内部に異物を入れない

バスレフダクト孔口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



キャビネット（スピーカー・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



落したり、キャビネットを破損した場合は
まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



長時間音が歪んだ状態で使用しない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



■ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品などが入った容器を置かない
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



この機器の上に小さな金属物を置かない
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて
販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



⚠ 注意

■ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近づけない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コード
が傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差し
しないでください。感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。



機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、
各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してくだ
さい。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因とな
ることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



■ 置き場所について

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたり
して、けがの原因となることがあります。



次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
・湿気やほこりの多いところ
・直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ



壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



■ 取り扱いについて

通風をさまたげない

内部の温度上昇を防ぐため、次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・あお向けや横倒し、逆さまにする
- ・押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



■ お手入れについて

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。



■ 使用上のご注意

- 長時間直射日光を受ける場所やストーブなどの暖房器具の近くに置くことは避けてください。
- 湿気の多い場所やホコリの多い場所に置きますと、故障の原因になる場合があります。
- キャビネットは殺虫剤が付着したり、ベンジン、シンナーなどの溶剤で拭いたりしますと、変質したり変色することがありますのでご使用は避けてください。また、汚れを拭き取る時は柔らかい布またはシリコンクロスを使い、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- スピーカーシステムの最大許容入力とは、一般のプログラムソースにおいて短時間なら加えることのできる入力ですのでこの値以上の入力を加えないようにしてください。
- ご使用になるアンプによって出力端子が異なることがありますので、アンプの取扱説明書をお読みいただき確認してください。
- アンプのトーンコントロールなどを最大にして、大出力で使用するとう出力波形に歪現象などが現れることがありますのでこのような使用は避けてください。
- テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定の信号を連続して再生することは、絶対に避けてください。
- スピーカーシステムを移動させる場合、サランネットに強く触れますとスピーカーを破損させることがありますので、ご注意ください。

CAUTIONS ON HANDLE

- Avoid placing the speaker systems in places exposed to direct sunlight for long periods of time or near heaters or other heating equipment.
- Placing in humid or dusty places may result in damage.
- Exposing the cabinet to insecticides or wiping it with benzene, thinner or other solvents may result in damage or discoloration to the finish. Use a soft cloth or silicone cloth to wipe any dirt off the cabinet. Use cloths containing chemical substances with care.
- Do not apply inputs exceeding the speaker system's max. input (the input which can be applied a short period of time with regular program sources).
- The output terminals may differ depending on the amplifier being used. Consult the amplifier's instructions.
- Clipping or other problems may occur in the output waveform when using the speaker systems with a high output and the amplifier's tone controls set to the maximum. Avoid using them under these conditions.
- Never play such special signals as a tape recorder's fast-forwarding signals or sine waves continuously.
- When moving the speaker systems, be careful not to apply excess force to the speaker nets. Doing so could damage the speaker units.

■ 設置について

警 告

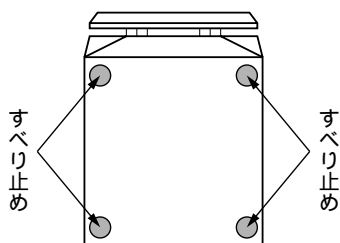


- スピーカーコードを足や手に引っ掛けて本機を落下させることのないように、コードは必ず壁などに固定してください。
- 取り付け後は必ず安全性を確認してください。また、その後定期的に落下の可能性がないか安全点検を実施してください。取り付け場所、取り付け方法の不備によるいかなる損害、事故についても当社はいっさいその責を負いません。

スピーカーシステムの音質は、部屋の大きさ・形態（洋室、和室）・設置のしかたによって変わりますので、次のことに留意して設置してください。

- 床に直接置いて低音域が不自然に強調されたりする場合にはコンクリートブロックなどの固い台の上にのせるようにしてください。
- スピーカーシステムをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置するとハウリングを起こすことがありますので、ご注意ください。
- スピーカーシステムの背面や前面に壁やガラス戸などがある場合には、共振や反射を防止するために厚手のカーテンなどを掛けるようにしてください。
- 本機はテレビとの近接使用が可能な防磁形スピーカーシステムですが、テレビの種類によっては色むらを生じる場合があります。その場合には一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁回路により、画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合には、スピーカーをさらに離してください。
- 近くに磁石などの磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので、ご注意ください。
- 付属のすべり止め（4個）を下図のように底面の四隅に貼り付けると、すべりにくくなります。（SC-M31LTDのみ付属）

【底面図】



■ サランネットのはずしかた

- スピーカーシステム前面のサランネットは、取り外すことができます。
- 取り外すときは、サランネットの両側を持って手前に引いてください。
- 取り付けるときは、サランネットの四隅の穴部とキャビネットの四隅の突起とを合わせて押し込んでください。

INSTALLATION

WARNING

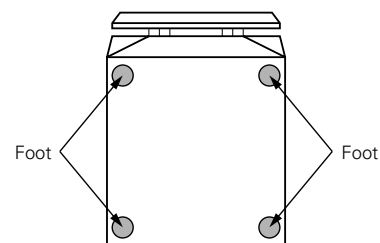


- Fix speaker cables to prevent being caught on it that might make loudspeakers fall down.
- Please check and confirm again after the loudspeaker would have been installed. Do not forget a periodical inspection also. DENON does not take any responsibility for any accident caused by unsteady installing.

The tone character produced by speaker systems depends on such factors as the size and type of room, the method of installation, etc. Pay attention to the following points when installing the speaker systems.

- If the bass sound is overemphasized when the speaker systems are installed directly on the floor, set them on concrete blocks or other hard stands.
- Note that howling may be produced if the speaker systems are placed on the same stand or shelf as a record player.
- If there are walls or glass doors behind or in front of the speaker systems, use heavy curtains, etc., to prevent resonance and reflection.
- This is an anti-magnet type speaker system which can be used near television sets, etc., but with some TV sets the colors may become blotchy. If this happens, turn off the TV's power, wait 15 to 30 minutes, and turn the power back on. The TV's self demagnetizing circuit will improve the picture. If the colors are still blotchy, move the speaker systems further away from the TV.
- Also note that if there is a magnet or any device generating magnetic force nearby, interaction between this device and the speaker systems can cause the colors on the TV to become blotchy.
- Please stick the feet at bottom of the cabinet as below to prevent slipping. (Included only with SC-M31LTD.)

[Bottom view]



REMOVING THE SPEAKER NET

- The net on the front of the speaker system is detachable.
- To remove it, grasp it on both sides and pull it towards you.
- To attach the net, line up the plastic pieces holes out of the net with the sticking in the cabinet and press in.

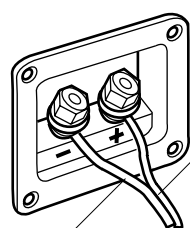
■ 接続方法

接続の際はアンプの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

スピーカーシステムをアンプに接続する場合は、必ずアンプの電源を切ってからおこなってください。

- スピーカーシステム背面の入力端子（下図参照）とアンプのスピーカー出力端子を付属の接続コードで接続します。
 - 左チャンネルのスピーカーシステムはアンプのL端子へ、右チャンネルのスピーカーシステムはアンプのR端子へ、極性（+、-）を確認して接続します。
 - 極性を間違えると、位相が変わったり低音域のない不自然な再生音になってしまいます。
- また、スピーカー端子のねじが4個ともしっかり締まっていることを確認してください。

接続方法 [右側赤端子が (+)、左側黒端子が (-) です]



スピーカー端子のねじをゆるめてコードの芯線を差し込み、ねじを締めてください。

アンプの⊕側へ
SC-M31 : 芯線銅色
SC-M31LTD : 透明被覆に印刷なし

アンプの⊖側へ
SC-M31 : 芯線銀色
SC-M31LTD : 透明被覆に印刷あり

注意：スピーカーコードの芯線どうしを接触させないでください。

CONNECTIONS

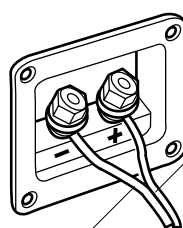
Before connecting, please consult with the instructions of your amplifier and follow them also.

Be sure to turn the amplifier's power off when connecting the speaker systems.

- Use the included cables to connect the input terminals on the back of the speaker systems (see diagram) to the amplifier's speaker output terminals.
 - Connect the speaker system for the left channel amplifier's "L" terminals, the one for the right channel to the amplifier's "R" terminals, matching the polarities ("⊕" and "⊖" marks).
 - Inverting the polarities will result in unnatural sound, with the phase off or no low bass sound.
- Also check that all four terminal knobs are tightly fastened.

Connections

(The red terminals on the right side are the "⊕" terminals, the black ones on the left side the "⊖" terminals.)



Loosen the terminal knobs, insert the cables' core wires, then tighten the knobs.

Connect to amplifier's "⊕" side.

SC-M31 : Copper color
SC-M31LTD : Coat without printing

Connect to amplifier's "⊖" side.

SC-M31 : Silver color
SC-M31LTD : Coat with printing

NOTE : Make sure the core wires do not touch each other.

■ 保証とサービスについて（日本国内のみ有効、Effective only in Japan）

- 1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますのでご注意ください。詳しくは保証書をご覧ください。
修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。
- 3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

株式会社 **デノン**

DENON, Ltd.

本 社 〒113-0034 東京都文京区湯島3-16-11
TEL : (03) 3837-5321 (代表)

16-11, YUSHIMA 3-CHOME, BUNKYU-KU, TOKYO 113-0034, JAPAN
Telephone: (03) 3837-5321

Printed in China 511 4053 003